

# 平成21年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

## 自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上に、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 社会で通用する確かな力を身に付けさせる。 (2) ルールやマナーを自ら守り、社会的規範を大切にさせる。 (3) 自ら健康と安全を管理できる生徒を育てる。	
2 評価する領域・分野	健康・安全	
3 今年度の具体的かつ明確な重点目標	生徒の生活習慣や心身の健康状態を的確に把握し、自主的に健康を管理・改善できる能力を育成する。	
4 目標の達成に必要な具体的な取組	(1) 生活習慣の確立と体力の向上 (2) 健康・安全に関する教育推進と事故の未然防止 (3) 体育施設等の充実と管理点検 (4) 集団行動の徹底 (5) 職員厚生の実施	
5 取組状況・実践内容等	6 評価	
(1) 生徒一人一人の能力、適正等に応じた指導内容を重点化し(選択制)、生活習慣の確立を図った。	B	
(2) 保健だよりを定期的に全校生徒に配布し、健康に関する情報提供や予防を呼びかけた。特に本年度は、新型インフルエンザの流行に伴い、うがいや手洗いの励行を促すとともに、職員室や教室に消毒液を置き注意を喚起した。	B	
(3) 体育施設等を定期的に点検した。部室や器具庫の鍵の管理を徹底した。	A	
(4) 学校行事や全校集会等において、集団行動の基本様式を指導した。	B	
(5) 定期考査中に職員研修会を実施した。	A	
7 成果・課題	学校行事や全校集会等において、時間よりも早く集合・整列しスムーズに行事を進行することができた。 体育施設、運動部部室、更衣室等を定期的に点検し、事務室との連携により修理・補修することができた。部室の鍵の管理も各部部員に徹底できた。 職員研修会を1学期の定期考査中に実施した。本年度は大勢の参加者があり各種目に分かれ活発に行われた。 新体力テストの結果により、能力(得点)の高い生徒と低い生徒の差が著しいことが分かった。今後も部活動や授業において地道に指導していく必要があると思われる。 運動会、強歩大会という二大体育的行事が新型インフルエンザ等の関係で中止になり大変残念であった。来年度の日程等を慎重に検討していきたい。	
8 来年度に向けての改善方策案	・体力を向上させ、新体力テストにおいてレベルアップを図るために、カリキュラムの見直し、授業内容の検討を続けていきたい。 ・部活動や施設の安全点検表を定期的に提出するようにし、事故の未然防止に努めたい。 ・職員の厚生活動を充実させ(期日、内容等)、親睦と活性化を図りたい。	

## 学校関係者評価

実施年月日：平成22年1月29日

【意見・要望・評価等】

